



被爆80周年

Piece of Peace
平和のかけら

広島交響楽団

第457回定期演奏会

Hiroshima Symphony Orchestra The 457th Subscription Concert

ベルリオーズ

歌劇「ベアトリスとベネディクト」序曲

Berlioz : Béatrice et Bénédict, Overture

ショパン

ピアノ協奏曲第2番へ短調作品21

Chopin : Piano Concerto No.2 in F minor Op.21

ショスタコーヴィチ(没後50年)

交響曲第6番ロ短調作品54

Shostakovich : Symphony No.6 in B minor Op.54

コンサートマスター:蔵川瑠美

Concertmaster:Rumi Kurakawa

ワルシャワの記憶

世界的パンデミック前の2019年8月、かのショパンコンクールの会場として名高いワルシャワ・フィルハーモニーホールで開催された「ショパンと彼のヨーロッパ」国際音楽祭に広響が参加、いわゆる「広響ポーランド公演」で共演を予定していたネルソン・フレイレの代役で急遽出演したクシシュトフ・ヤブウォンスキはまるでショパンがとり憑いたような演奏で、満場の観客を魅了し、鳴り止まない喝采の中、3度のアンコールに応えた。是非とも広島の皆様にこの演奏を届けようと計画するも、コロナ禍で来日叶わず、ようやくこの機を得ることとなった。指揮者のフェデックも2021年に来日叶わず、2023年に共演。その時の好演が今回に結びついた。

2026.1.23(金) 18:45開演

[17:45開場]

Friday, January 23, 2026 Start 18:45 [Open 17:45]

広島文化学園HBGホール 広島市中区加古町3-3

Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

チケット(税込/全席指定)

S席5,800円・A席5,200円・B席4,500円(学生1,500円)

※学生席は小学生以上25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみで取り扱い)

チケット発売日/2025年11月25日(火)

プレイガイド/広響事務局、ローソンチケット(Lコード:63338)、チケットぴあ(Pコード:289-296)

主催/公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社



文化庁文化芸術振興費補助金

(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))

|独立行政法人日本芸術文化振興会

公益財団法人 合人社財団

100年をつくる会社
プレミアム協賛/

後援/広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、
テレビ新広島、広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、
ちゅビCOM、月刊ウェンディ出版局

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。
※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。

※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

お申し込み・お問い合わせ

広響事務局 TEL:082-532-3080 <http://hirokyo.or.jp> 広響公式HP

第457回定期演奏会

Hiroshima Symphony Orchestra The 457th Subscription Concert

Piece of Peace
被爆80周年
平和のかから

指揮 ジェームズ・フェデック

Conductor: James Feddeck

ニューヨークに生まれ、シカゴ・トリビューン紙から、「明らかに次代を担うであろう逸材」と称えられたジェームズ・フェデックは、これまでにクリーヴランド管弦楽団のアシスタント指揮者を務めるとともに、ショルティ指揮者賞、アスペン指揮者賞を受賞している。2020年にイタリアミラノのイ・ポメリッジ・ムジカーリ管弦楽団の首席指揮者に就任。ミラノでのオーケストラやオペラの出演に加え、ベルギー国立管、リール国立管、ハーグ・レジデンティ管にも再客演。最近ではウェールズBBC響や広島交響楽団にも出演。

近年の活動として、ウィーン放送響、ベルリン・ドイツ響、BBC響、ストックホルム・フィル、ヘルシンキ・フィル、バーミンガム市響、ハレ響、フランス国立管、リヨン管などのヨーロッパの主要なオーケストラへのデビューがあげられる他、北米では、すでにシカゴ響、クリーヴランド響、サンフランシスコ響、シアトル響、デトロイト響、ダラス響、トロント響、モントリオール響などと共に演を果たしている。

録音作品には、ベルリン・ドイツ交響楽団との共演によるゲオルク・シューマン作品(2017年)、クリーヴランド管弦楽団およびカルダー四重奏団との共演によるテリー・ライリーおよびデイン・ルディアール作品(2022年)などがある。



©Terry Johnston



©Claire Chen

ピアノ クシシュトフ・ヤブウォンスキ

Piano: Krzysztof Jablonski

1985年ショパン国際ピアノコンクールで第3位入賞したほか、多くの国際ピアノコンクールで数々の賞を受賞。

また、ゲルギエフ、ボレイコ、ペニデレツキほか世界各国の著名な指揮者との共演も重ねてきた。

ドイツ、日本、およびポーランドで多数のCD録音も行っており、最近では国立ショパン研究所の依頼により、現代ピアノとピリオド・ピアノ両方によるショパン・エチュード全曲を収録。ヤニナ・ブートルとアンジェイ・ヤシンスキ教授に師事し、マスタークラスでは、ルドルフ・ケーラーとニキタ・マガロフの下で研鑽を積んだ。1987年にカトヴィツェ音楽院を優等で卒業し、さらに1996年には同音楽院で博士号を取得。2004年から2017年にかけてワルシャワのフレデリック・ショパン音楽大学の教授を務めた。

現在は香港中文大学のピアノ鍵盤楽器科の首席兼アカデミック・リーダー。

2025年第19回ショパン国際ピアノコンクールでは前回に続き審査員を務める。

次回予告 第458回プレミアム定期演奏会

2026.2.14 (土) 15:00開演
[14:00開場]

広島文化学園HBGホール

リスト(没後140年) :

ピアノ協奏曲第1番変ホ長調 S.124/R.455

ワーグナー:

楽劇「ワルキューレ」より第1幕(演奏会形式・字幕付き)



指揮
クリスティアン・アルミンク



ピアノ
久末航



ジークムント(テノール)
村上敏明



ジークリンデ(ソプラノ)
渡邊仁美



ファンディング(バリトン)
志村文彦



2025年度

後期定期会員募集のご案内

1月~3月の定期
全3回

5席 14,800円 A席 13,300円 B席 11,600円
お申し込みは広響事務局までお電話ください。(受付期間2025年9月22日~2026年1月22日)